

ディリー・ジーザス・ニュース #179

(注：この投稿のオンライン新聞版は[ここからお読みいただけます。](#))

後期ユダヤ教宣教：イエスは弟子たちを弟子としての基礎を訓練する

イエスは祈りの継続について教える

ルカ11.5-13

5 そこでイエスは彼らに言われた。

「あなたに友人がいて、真夜中に彼のところに行ってこう言ったとします。『友よ、パンを三つ貸してください。旅に出ていた友人が私のところに来たのですが、彼に出す食べ物がありません。』」

7 「すると、中にいる人がこう答えたと想像してみてください。『邪魔しないで。ドアはすでに鍵がかかっているし、子供たちも私も寝ている。起き上がりつて何かをあげるわけにはいかない』」

8 あなたがたに言うが、たとえ彼が立ち上がりつてパンを与えるよりも、友情のゆえにではなく、あなたがたの恥知らずな執拗さゆえに 彼は必ず起き上がり、あなたが必要とするだけ与えてくれるでしょう。

9 だから、わたしはあなたがたに命じます。求め続けなさい。そうすれば、与えられるでしょう。探し続けなさい。そうすれば、見つかるでしょう。門をたたき続けなさい。そうすれば、あけてもらえるでしょう。10 すべて、求め続ける者は受け、探し続ける者は見つけ、門をたたき続ける者にはあけてもらえるからです。

11 「あなたたちの父親のうち、もし息子が魚の代わりに蛇を与えるでしょうか？12 あるいは、卵を頼んだらサソリを与えるのでしょうか？

13 このように、あなたがたは悪い者であっても、自分の子供には良い贈り物を与えることを知っているとすれば、天の父はなおさら、求める者に聖霊を下さらないことがあろうか。

=====

注：私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します：マタイ =^{MT}、マーク=^M、ルカ=^L、ヨハネ=^J、使徒行伝=^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体**はイエスの言葉を示します。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト

位置	ユダヤ
タイムライン	10月（33月）
イエスの生涯の文脈	第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教

ディリー・ジーザス・ニュース #179

	D. イエスはユダヤで宣教し、弟子たちを訓練する
	1. イエスは弟子たちを弟子としての基礎を訓練する
タイトル	v. イエスは弟子たちに祈りの継続について教える

コメント：

イエスが祈りについて教えた二つ目の基本的な教えは、粘り強さがいかに重要かということです。イエスは、もし私たちが諦めることなく、時間とエネルギーの投資を止めずに、個人的な祈りを続けるなら、やがて誰もが力強く祈れるようになると約束されました。祈りにおける粘り強さとは、過去、あるいは最近、どれほど何度も祈るべきことを怠ったとしても、決して諦めないことを意味します。

イエスはギリシャ語で、継続的で継続的な行動を強調する動詞の時制を用いました。 「**求め続けよ…探し続けよ…たたき続けよ**」 これは、行動における粘り強さを表しています。

最初の物語では、男は友人が必要なものを与えることに躊躇するのを、圧倒的な粘り強さで力強く説得し、果敢な粘り強さを見せました。しかし、この物語の要点は、神に関しては、必要なものを与えることに躊躇などなく、ただ私たちに必要なものを与えたいという強い願いがあるだけであり、あらゆる資源は私たちが求めるのを待っていて、用意されているということです。

粘り強さによって、気が進まない友人から必要なものを得ることができるなら、寛大で限りなく慈しみ深い神が文字通り命をかけて私たちに与えてくださったものを、どれほど確実に得られるでしょうか。この確信こそが、祈りの人生における粘り強さの尽きることのない源なのです。

イエスはこれらの節の中で、祈りに関する素晴らしい約束を与えています。粘り強く続ける人は皆、例外なく、祈りの答えを継続的に受けます (11.10) 。粘り強さは、私たちが自らの選択、つまり意志によって実行できるものです。信仰は人によって異なりますが、粘り強さは私たち皆にとって等しく実行可能ものです。

神の寛大で、与えようとする性質をさらに強調するために、イエスは二つ目の例え話をされました。この世で最も邪悪で破壊的な犯罪者でさえ、自分の子供には良い贈り物を与えることを知っています。もし邪悪な人が愛する人に自然に良いものを与えるのであれば、私たちの完全な愛と善なる父は、求め続ける人々にどれほど聖霊を与えてくださることでしょう。

なぜ聖霊について、祈りが聞き届けられるという文脈で語るのでしょうか？すべての答えは、聖霊によって地上の私たちに届けられます。聖霊は、父なる神と子なる神が私たちに与えてくださるすべてのものの、個人的な管理者であり、生産者であり、配達人です。これはまた、祈りの可能性に大きな希望を与えてくれます。なぜなら、聖霊は宇宙のあらゆる空間と場所に、常に存在しているからです。聖霊はそこに存在し、いつでも誰にでも、神のあらゆる資源を授けることができるのです。

ディリー・ジーザス・ニュース #179

聖霊の臨在は、ただ祈り続けるだけで、祈りが聞き届けられるという無限の力と可能性をすべての人に与えます。これは、イエスがすべての弟子たちにこの教えから学び、粘り強い祈りの人生に応用するよう期待された教訓です。

応用：

個人的な祈りに対するあなたの自身の粘り強さを、1から10の尺度でどのくらい評価しますか。

それについて何をする必要がありますか？いつそれをする予定ですか？